

# 6月24日オープンキャンパス 本日の模擬授業

		H・J棟		その他教室
		4階 J401教室	4階 H404教室	
11:15 ~ 12:00	総合文化学科	心理教育学科 子ども教育専修 保育コース		
	ことばの変化を考える 荻宿 紀子 先生	自分の価値観を見つめてみよう —「人」を援助する時大切なこと— 一瀬 早百合 先生		
	古代から現代までことばは変化し続けてきました。現在もことばは変化し続けています。たとえば「全然」いいという表現をよく耳にすることがありますが、この「全然」+肯定表現はどのようなときに使われるのでしょうか。日本語の「問題」として取り上げられることの多い具体的な表現を見ながら、「現在進行中のことばの変化」について考えてみましょう。	人間を対象とする心理・教育・保育の実践とは、自分自身が「道具」であるとも考えられます。道具はきちんと手入れしなければ錆びてきて、相手を傷つけることがあるかもしれません。ソーシャルワークでは「自己覚知」という方法で自分自身の価値観を確認します。対人援助を目指す自分自身を見つめてみませんか。		
12:15 ~ 13:00	経済学科	心理教育学科 心理学専修		
	ジャングルの島”ボルネオ”で家族と暮らしてきました。 多様性に満ちた魅力的な社会を紹介します 加藤 巖 先生	ディズニープリンセスの親子関係 高坂 康雅 先生		
	マレーシアは多民族国家です。中でもボルネオ島は多くの民族が暮らしています。同島北部のサバ州には30以上の民族が暮らし、70の言語が存在すると言われていて。今回の授業ではその昔「首狩り族」として恐れられた少数民族の生活をご紹介します。ジャングルの中の彼らの暮らしは驚きに満ちています。実は私と家族は今年3月までの一年間を同島で過ごしました。家族の体験もお話します。文化的な差異を受け入れることで自らの暮らしが豊かになると感じています。	親子の関係は、生まれた時から常に変化をしています。しかし、人は他の親子関係を知ることができないため、自分の親子関係が普通であり、適切であると考えてしまいがちです。『シンデレラ』や『ラプンツェル』などの物語には、様々な親子関係が描かれています。どこが変で、うまくいっていません。人の親子関係はどのように変わっていくのか、適切な親子関係とはどのようなものなのか、ディズニープリンセスの親子関係を通して理解していきましょう。		
13:15 ~ 14:00	経営学科	人間科学科 ※	芸術学科	
	インドネシアにおける日本のBOPビジネスと国際協力 バンバン ルディアント 先生	身近な聖地・七福神巡り 澁谷 利雄 先生	アトリエ D棟3階307教室	
	トヨタ自動車はインドネシアのような開発途上国での販売しているのは富裕層のためでしょうね。しかし、他の日本企業の商品で、貧しい方々でも買えるものがあることについて知っていますか。それは、Base Of The economic Pyramid (BOP)ビジネスと言います。本授業では現地のCMを見せながら日本のBOPビジネスを紹介します。また、和光大学が参加しているJICA(国際協力機構)の事業についても動画などで紹介します。	七福神は最も身近でありふれた神々です。七福神めぐりは江戸時代に大衆化し、今日に至っています。七福神とは、恵比須(えびす)、大黒天(だいこくてん)、弁才天(べんざいてん)、毘沙門天(ひしゃもんでん)、布袋(ぼたいてん)、福禄寿(ふくろくじゆ)、寿老人(じゅうろうじん)のことです。全国各地に七福神めぐりのコースがありますから、みなさんが住んでいる家の近くでも見られるかもしれません。七人の神々のうちで日本出身は恵比須のみ、3人が中国、他の3人はインドです。神道、仏教、道教が混ざり合っています。神々の来歴を訪ねながら信仰の実態を探ってみましょう。 ※2019年、4月身体環境共生学科から名称変更予定	コラージュによるワークショップ —予想外の発想を種に使う— 佐藤 勲 先生	コラージュは、画面のバランスや空間性など絵画的な要素を楽しむこともできますが、思いもよらない崩れたリズムや突拍子もない形を引き出してくれるユニークさがコラージュの面白いところです。今回は、この崩れた形の面白さを予想外の発想で導き出してみよう。美術的な経験が無くても十分楽しめます。  ※授業時間は13:15~15:00です。
心理教育学科 子ども教育専修	現代社会学科			
〃教える、のヒミツ 富樫 千紘 先生	ジェンダーの社会学 杉浦 郁子 先生			
14:15 ~ 15:00	教師は「子どもの成長の伴走者」ともいわれます。その言葉の意味について、「教える」のヒミツから探っていきましょう。模擬授業では、学校の先生たちの仕事の中心を占める「教える」という営みの疑似体験を通して、「そのヒミツ」を考え合います。「ヒミツ」を通して、「伴走者」としての教師の仕事の重要性や、父母をはじめとする教育関係者との連携の重要性について深めていきます。	現代日本は、性別によって生きられる経験が大きく異なる社会です。「何が違うのだろう」「その違いが生まれるのはなぜだろう」「その違いは私たちの暮らしや社会にどんな影響を及ぼすのだろう」。こうしたことを考えるための概念が「ジェンダー」です。「ジェンダー」が社会問題の発見や解決に有効な分析道具であることを、具体例とともに解説します。		